

事業所名

スペクトラムライフ

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

23日

法人（事業所）理念	最先端の専門知識・技術を駆使し、発達に個性のあるお子さんの育ちとご家族による子育てを応援し、快適な地域生活をサポートする。また、お子さんの将来における、自立的な生活やその子らしい幸福な人生の実現に貢献する。				
支援方針	専門機関として、発達障害児支援の専門性を常に研鑽し、高い水準で維持する。また、利己よりも利他の価値観を持ち、業務の中で種々の価値観や判断に対立が生じた際には、「目の前にいる子ども的人生にとっての利益」という価値観を最優先することとする。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	机上学習課題の視覚スケジュール化や玩具の要求カードの設定等、視覚支援による見通しの改善。			
	運動・感覚	ハンモックやトランポリン、ウレタンブロック等の粗大運動遊具の設定による運動発達支援。			
	認知・行動	認知発達に応じた個別の学習課題の設定。行動理論に基づく関わり方の検討。			
	言語 コミュニケーション	言語・コミュニケーション発達に応じた関わりや環境設定の検討。			
	人間関係 社会性	人との関わり行動を強化するために原則的に課題・活動・関わりに強化価値の高い強化子（原則、食物以外）を設定する。			
家族支援	毎回、同席して頂き、こまめに相談助言を行う。また助言内容は専門家である法人代表が負の管理を行う。	移行支援	移行先で必要な支援の内容の検討・助言等を行う。ただし、就学先や移行先の選択についての助言は必要最低限とする。		
地域支援・地域連携	関係機関からの見学者を受け入れたり担当者会議にスタッフを派遣したり等、必要に応じた支援・連携を行う。ただし利用児にプラスにならないと判断した連携はしない場合もある。	職員の質の向上	元国立機関の専門家や国際認定セラピストでもある法人代表が、療育マニュアル・相談データベース・支援計画サンプル等の専門性を担保するシステムを構築し、適宜OJTやビデオフィードバックを行っている。国立機関並みのビデオ研修システムもある。		
主な行事等	個別指導療育のため、特に集団行事等は設けていない。				

ABAの方法論や技術、TEACCH自閉症プログラムの考え方やメソッド、PECSのプロトコル、ESDMの枠組み等、発達障害児支援の専門技術やプログラムを適宜援用しながら個別指導療育を行う。